

第18巻1号 (平成17年6月25日発行)

目 次

<i>Periostin</i> and <i>Twist</i> mRNA Expression in the Hypofunctional Mouse Periodontal Ligament Afanador Mendoza, Elaine Cecilia	1	
歯の移動時におけるケモカインの発現に関する検討	塩屋園 敦	11
アビジン結合蛋白の細胞内局在について ーウエスタンブロッティング変法と細胞化学的方法を用いてー	岡本 好史	27
扁平上皮癌細胞における上皮・間葉移行による高悪性化機構の解析	瀧 雅行	39
メカニカルストレス応答遺伝子オステオポンチンの発現調節と機能に関する研究	藤原 慎視	57
唾液腺腺房細胞における matrix metalloproteinase-9 抑制と導管細胞における aquaporin-5 誘導機構 ーシェーグレン症候群唾液腺水分泌機能の再生ー	芦田 有紀	71
口腔扁平上皮癌細胞に対するフッ化ピリミジン系経口抗癌剤 TS-1 と放射線との併用効果の解析	川口 真一	93
歯肉上皮細胞におけるカルプロテクチンの発現調節	林 能理子	109
免疫抑制剤サイクロスポリンAがラット骨代謝に及ぼす影響	和田 智恵	121
Mechanism of Quinolone Tolerance in <i>Pseudomonas aeruginosa</i>	Darija Viducic	133
齧蝕関連細菌の樹状細胞成熟に及ぼす影響について	高松 夏子	149
人工齧蝕象牙質における <i>Streptococcus mutans</i> の動態に関する研究	末延 慎司	161

第18巻2号（平成18年1月31日発行）

目 次

受賞講演

転写因子 NF- κ B 活性の抑制による口腔扁平上皮癌の放射線感受性の増強……………茂木 勝美 …… 179

線維芽細胞増殖因子受容体の変異と骨系統疾患 ……………谷本 起穂 …… 187

ケモカインシステムによる口腔癌のリンパ節転移機構 ……………内田 大亮 …… 195

総 説

マトリセルラータンパク質 (Matricellular proteins) の機能

— トロンボスポンジンを中心として — ……………上野 明道 …… 203

歯科インプラント失敗のリスクファクターと治療成績向上のための対策

— インプラントを失敗させないために — ……………宮本 洋二 …… 211

Hypoxia-inducible factor-1: その発現制御および口腔扁平上皮癌における関わり ……………山本 哲也 …… 221

症例報告

口腔内装置を用いた閉塞型睡眠時無呼吸症候群の一症例

……………勝瀬 充啓, 伊東 正志, 近藤 正孝, 管野 貴浩, 古木 良彦, 三次 正春 …… 235

トピックス

歯周病学における新しい研究の流れ……………永田 俊彦 …… 243

レーザー・ドップラー式血流画像化装置を用いた矯正学的評価法の開発

……………富田 優子, 高橋 巧, 森山 啓司 …… 245

会務報告 …………… 254

会 則 …………… 256

投稿規定 …………… 259

四国歯学会会務報告

第24回総会は、平成17年6月19日（日）午後1時から歯学部大講義室（4F）にて開催された。坂東永一会長の挨拶の後、三宅洋一郎理事を議長に選出して、以下の報告及び協議がなされた。

報告事項

1. 庶務報告（野間理事）

- 1) 運営委員会の開催（平成17年6月7日）
- 2) 理事会の開催（第82回平成17年3月28日，第83回平成17年6月9日）
- 3) 現在会員数（平成17年6月19日現在，学内245名）
- 4) 退会会員数（平成17年6月19日現在，学内12名，学外3名），17年度退会申し出数3名（学外）
- 5) 学外会員数（平成17年6月19日現在 299名）
- 6) 四国歯学会は学術刊行物の指定を受け，第4種郵便制度が適用となった。

2. 学術報告（河野理事）

- 1) 第29回例会に関する報告
- 2) 歯科医師会との共催事業として夏期講習会を行う予定である。平成17年10月20日（木）19:00～21:00を予定

3. 編集報告（吉本理事）

- 1) 第17巻2号を平成17年1月31日に発行した。
- 2) 第18巻1号（学位論文12篇：平成17年6月25日発行予定）の状況報告。
- 3) 四国歯学会雑誌の紙質を従来より薄いものへ，大きさをB5からA4に，表紙のデザインも変更予定である。
- 4) トピックス，研修医制度，共用試験に関する原稿依頼を行う。また3賞受賞者は四国歯学会雑誌に載せる。

4. 会長の交代

坂東永一監事が平成17年4月1日付けで歯学部長に就任のため，三宅洋一郎前会長から交代。

5. 評議員の交代

口腔顎顔面外科学分野の鎌田伸行助教授退職により，中西宏彰講師に交代。

協議事項

1. 監事の改選

坂東永一監事が会長に就任されたため細井和雄理事（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授）が推薦されて承認された（第83回平成17年6月9日理事会）。

2. 平成16年度（2004年度）決算報告（別表1）

会計決算報告について，誉田理事（会計）より説明があり，細井監事より監査報告がなされた後，原案どおり承認された。

3. 平成17年度（2005年度）予算（別表2）

誉田理事から予算案の説明があり，原案どおり承認された。

1. 平成16年度（2004年度）決算

収 入	決 算 高	予 算 高	差 異
繰 越 金	5,667,458	5,667,458	
入 会 金	26,000	34,000	-8,000
本 年 度 会 費	1,258,000	1,300,000	-42,000
過 年 度 会 費	124,000	100,000	24,000
次 年 度 会 費	4,000	0	4,000
賛 助 会 費	125,000	225,000	-100,000
過 年 度 賛 助 会 費	0	0	0
論 文 掲 載 料	1,224,600	1,871,000	-646,400
広 告 掲 載 料	710,000	723,000	-13,000
雑 収 入	59,414	48,000	11,414
小 計	3,531,014	4,301,000	-769,986
合 計	9,198,472	9,968,458	

支 出	決 算 高	予 算 高	執 行 率 (%)
学 会 開 催 費	114,658	200,000	57
会 誌 印 刷 費	2,535,645	3,645,000	70
通 信 連 絡 費	216,706	276,000	79
事 務 費	85,838	44,000	195
備 品 費	0	9,000	0
名 簿 印 刷 費	0	0	
事 務 委 託 費	105,000	210,000	50
国 際 交 流 事 業 費	168,346	200,000	84
予 備 費	0	200,000	0
支 出 合 計	3,226,193	4,784,000	67
次 年 度 繰 越 金	5,972,279	5,184,458	
合 計	9,198,472	9,968,458	

2. 平成17年度（2005年度）予算

収 入	予 算	支 出	予 算
繰 越 金	5,972,279	学 会 開 催 費	200,000
入 会 金	20,000	会 誌 印 刷 費	2,000,000
本 年 度 会 費	1,200,000	通 信 連 絡 費	200,000
過 年 度 会 費	100,000	事 務 費	90,000
次 年 度 会 費	0	備 品 費	10,000
賛 助 会 費	150,000	事 務 委 託 補 助 費	100,000
過 年 度 賛 助 会 費	0	国 際 交 流 事 業 費	200,000
論 文 掲 載 料	700,000	予 備 費	100,000
広 告 掲 載 料	700,000	支 出 合 計	2,900,000
雑 収 入	30,000	繰 越 金	5,972,279
合 計	8,872,279	合 計	8,872,279

四国歯学会 第29回例会・第24回総会 記 録

プログラム

日時：2005年6月19日（日）13:00より

会場：徳島大学歯学部大講義室（4階）

13:00 開会の辞 坂東 永一 会長

13:05～13:30 総会

受賞講演

座長 坂東 永一

13:30

stromal cell-derived factor-1/CXCR4システムを標的とした口腔扁平上皮癌のリンパ節転移抑制療法の開発

○内田 大亮

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔腫瘍制御学分野

13:45

線維芽細胞増殖因子受容体の変異と骨系統疾患

○谷本 起穂

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔顎顔面矯正学分野

14:00

ヒト口腔扁平上皮癌細胞における転写因子NF- κ Bの抑制による抗癌剤感受性の増強

○茂木 勝美

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔腫瘍制御学分野

帰朝講演

座長 河野 文昭

14:20

ミネソタ生活1年間

○木戸 淳一

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
歯周歯内治療学分野

14:35

自己免疫疾患におけるNF- κ Bを介したT細胞活性化機構の解析

○石丸 直澄

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔分子病態学分野

14:50

ボストン大学に3年間留学して

○湯本 浩道

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
歯科保存学分野

15:05

チューリッヒ大学に3年間留学して

○佐藤 裕

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
予防歯学分野

一般講演

座長 山下 菊治

15:25

ヒト軟口蓋の筋構成に関する肉眼解剖学的研究

○角田 佳折, 北村清一郎

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
顎口腔顔面形態学分野

15:35

サイナス・リフトに必要な局所解剖学の知識

○三好 正希, 藤崎 翔*

芝辻 豪士*, 角田 佳折**

森本 景之**, 北村清一郎**

徳島大学歯学部3年次学生

*徳島大学歯学部4年次学生

**徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

口腔顎顔面形態学分野

15:45

パノラマX線写真による8020運動の検証

○佐藤 真大, 小池 一幸*

菅原千恵子**, 前田 直樹**

細木 秀彦**, 岩崎 裕一**

誉田 栄一**

徳島大学歯学部3年次学生

*徳島大学歯学部5年次学生

**徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

口腔顎顔面放射線医学

座長 高橋 章

15:55

各種歯科材料等の使用状況に関するアンケート調査

○南口 真実, 太鼓 地恵

本郷 昌一, 西川 啓介*

石川 輝明*, 北村万里子*

中野 雅徳*, 坂東 永一*

徳島大学歯学部歯学科4年次

*徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

咬合管理学分野

16:05

随意噛みしめ動作を利用した ALS 患者のための意思伝達装置の開発

一側頭筋における感王センサ設置最適部位の検討一

○太鼓 地恵, 本郷 昌一
南口 真実, 中野 雅徳*
石川 輝明*, 北村万里子*
郡 元治*, 重本 修伺*
坂東 永一*

徳島大学歯学部歯学科 4 年次

*徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
咬合管理学分野

座長 里村 一人

16:15

ヒト口腔扁平上皮癌細胞に対するフッ化ピリミジン系抗癌剤と TRAIL の併用効果の解析

○板敷 康隆, 原田 耕志*
吉田 秀夫*, 佐藤 光信*

徳島大学歯学部歯学科 5 年次

*徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔腫瘍制御学分野

16:25

軀幹部 CT による口腔顎顔面悪性腫瘍遠隔転移の評価

○高橋 章, 中村 竜也*
多田 衣里**, 前田 直樹***
菅原千恵子***, 工藤 隆治***
久保 典子***, 川口 真一***
細木 秀彦***, 岩崎 裕一***
誉田 栄一***

徳島大学医学部・歯学部附属病院 歯科

*徳島大学歯学部 5 年次

**徳島大学歯学部 4 年次

***徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔顎顔面放射線医学

16:35

上歯肉扁平上皮癌に対する高線量率モールド照射の治療経験

○工藤 隆治, 工藤 景子*
湯浅 哲也*, 尾崎 享祐**
生島 仁史***, 長山 勝*
誉田 栄一

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔顎顔面放射線医学

*徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
口腔顎顔面外科学

**徳島大学医学部・歯学部附属病院 放射線科

***徳島大学医学部・歯学部附属病院 放射線部

16:45 閉会の辞 長山 勝 副会長

懇親会

例会終了後, 2階第3講義室で行いますので奮ってご参加ください。会費は1,000円です。

注意事項

- 受賞講演について
講演時間15分とします。
- 帰朝講演について
講演時間15分とします。
- 一般講演について
発表時間8分, 討論時間2分とします。
- 講演, 発表方法について
 - ・発表は液晶プロジェクター, 単写とします。
 - ・Microsoft社のPowerPointを用いてスライドを作成して下さい。
 - ・コンピューター(Windows PCとMac)は発表者がご用意下さい。
 - ・前々日の金曜日16:00~18:00の間に, 動作確認を行ってください。
- 講演, 発表後に400字程度の抄録をご提出下さい。